

## 令和3年度施策に関する外部評価結果一覧

三 川 町

分類番号	施策項目	外部評価結果
1-1	子育てしやすいまちづくりの推進	概ね良好
所 見	<p>顔の見える細やかな対応が評価できる。子育てに力を入れている町として、今後も顔の見える細やかな対応を行っていただきたい。</p> <p>芸術にふれることによってさらに成長につながることから、引き続き事業に取り組んでいただきたい。また、町内にある3園の交流につながる活動も今後検討していただきたい。</p> <p>特別学級支援員等の配置は他の市町村に比べて手厚い内容となっており、高く評価できる。</p> <p>また、GIGA スクール構想の推進については、各教師や保護者の間でも、ICT への理解度にギャップがあると思われるが、教師への研修、運営サポートの充実化を行っていることは評価できる。学力の向上にどの程度寄与しているか、習熟レベルに差がないかななどを検証・改善しながら、引き続き取り組んでいただきたい。また、ICT 技術を使った学習が推進されるなかでも、従来型の学力向上対策も引き続き取り組む必要がある。</p> <p>子育て支援対策としての出産祝い金や医療給付等、評価できる。子育てサークル活動への支援も引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>コミュニティスクールの事業実施により、地域と学校の連携が図られ、地域の社会力の維持・向上に寄与している。引き続き取り組んでいく必要がある。</p>	
1-2	生涯学ぶことができる地域社会の実現	概ね良好
所 見	<p>成人式をはじめ社会教育事業の実施については、感染等のリスクを避けながら、できる限り開催を目指し最善を尽くしていただきたい。</p> <p>生涯スポーツの推進にあたっては、コロナ禍により各種イベントの中止が相次いだことはやむを得ないが、再開してもこれまでのような参加数を確保することは難しいと思われる。</p> <p>スポーツを通じた交流、地域活動維持のため体協や町内会から協力をいただきながら周知し、参加者数を確保する必要があり、一部改善が必要である。</p> <p>芸文協へ加入している団体の人数は増えており、合唱などの団体の活動も積極的であるなど各事業の取り組みは評価できる。</p>	
2-1	誰もが健康で幸せに過ごせる共生社会の実現	概ね良好
所 見	<p>居場所づくりとともに、地域の支え合いがますます重要となっているため、各事業を継続していただきたい。</p> <p>老人クラブ活動は、生きがいつくりや高齢者同士の支え合いにつながっており、継続した支援を行う必要がある。</p> <p>介護者の負担が大きいため、支援を継続していただきたい。保健師の障害児への細やかな支援を評価している。今後も障害者の家族の心に寄り添った支援を継続していただきたい。</p> <p>マイチャレポイント事業は取り組みへの励みにつながっており、評価できる。引き続きマイチャレポイント事業を推進していただきたい。</p>	

分類番号	施策項目	外部評価結果
2-2	安全で安心して暮らせる強靱なまちの実現	概ね良好
所見	<p>自主防災組織への支援について、コロナ禍における支援のあり方に留意すべきである。</p> <p>消防団の団員数について、定員割れ状態の改善を図るべきである。消防車両及び消防ポンプの整備・更新について、今後も計画的に行うべきである。</p>	
3-1	活力に満ちた産業の育成と雇用の創出	概ね良好
所見	<p>農業の担い手育成は喫緊の課題であるため、人・農地プランの作成による効果的な事業執行を図っていただきたい。</p> <p>自動車免許を持っていない高齢者等にとっては、買い物弱者対策は非常に有効な事業である。中小企業等振興支援事業を他の町内小規模事業者にも広く対応していただきたい。</p> <p>三川町で生まれた米イ号を使用した酒造りは一定の成果が見られたため、イ号を活用した新たな商品開発に発展するよう取り組んでいただきたい。</p> <p>セーフティネットとして利用しやすい制度となるよう関係機関と調整を図っていただきたい。</p>	
3-2	みかわブランドをいかした交流人口・関係人口の拡大	一部改善が必要
所見	<p>町の観光振興においては、いろり火の里に隣接する場所に菜の花畑を設けることが重要であるため、早期に連作障害対策を図っていただきたい。</p> <p>コロナ禍における人的交流の実施については、困難な点も多いが工夫をこらして出来る範囲で取り組んでいただきたい。</p>	
4-1	安定した生活基盤を支えるインフラ整備	一層の拡充が必要
所見	<p>地域発展のため産業団地の拡張および住宅地開発が早期に実現するよう積極的に取り組むことを期待したい。</p> <p>交通弱者である高齢者にとってデマンドタクシーは効果的であり、さらに利便性が良いデマンド型交通システムとなるよう町外運行の早期実現を図っていただきたい。</p>	
4-2	自然と調和した住環境の整備	一層の拡充が必要
所見	<p>赤川河川緑地ふれあい広場について、利用促進のため更なる取組みを行うべきである。</p> <p>ごみの減量化について、住民等に対する効果的な啓発方法を検討すべきである。</p>	
4-3	町民総参加によるまちづくりの推進	一部改善が必要
所見	<p>住民活動における主体的な協働提案事業が創出されるよう、町当局より指導助言を行っていただきたい。</p>	

#### <外部評価経過>

令和4年8月18日（木）午後1時30分から、三川町役場 講堂において、三川町行財政改革推進懇談会を開催し、その後、分科会に分かれて講堂、大会議室、第2会議室及び第3会議室において、委員それぞれの所管する施策項目について評価し、所見を集約したものである。